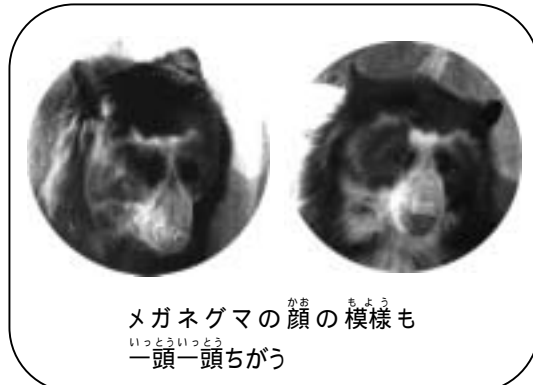


クマの顔や胸の模様、足などの特徴

クマの顔や胸の模様など

メガネグマは顔の模様、ツキノワグマやマレーグマは胸の模様が一頭一頭ちがいます。細かく観察してみれば、顔も体もわたしたちと同じようにみんなちがっているのです。気候に合った体は、寒い場所で生活している動物ほど、体温を保つために体が大きく、耳や首などの飛び出ている部分が短くなると考えられています。



足

北極圏に住んでいるホッキョクグマの足の裏は寒さを防ぐために毛がびっしり生えています。でも、暖かいところに住んでいるマレーグマやメガネグマの足の裏には毛が生えていません。毛の生えていない足の裏は、しっかり木をつかむことができ、木に登ったり、木の上で食べ物をとるのに適しています。また、ナマケグマのつめはほかのクマに比べて長くなっていますが、これは大好物のシロアリの巣をこわすのに役立っています。

